

丹青社 分散ネットワーク型オフィス 港南ラボ マークスリー [Mk_3]

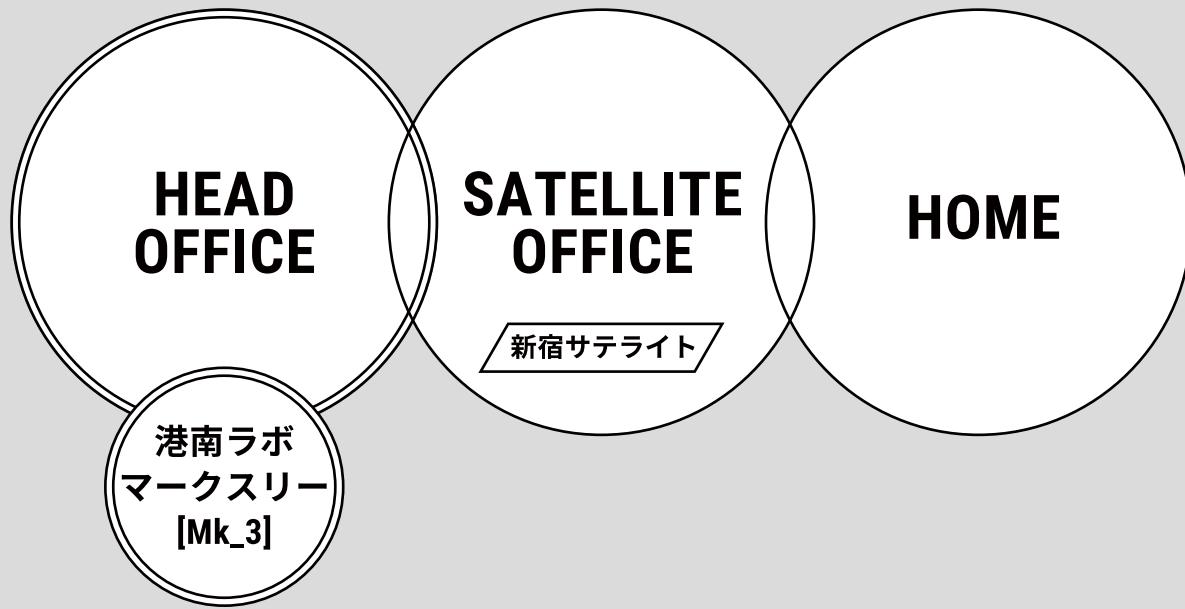
丹青社は、新しい丹青社グループへと自らを「変革」することを掲げて「働き方の再構築」に取り組んでいます。

これから時代に望まれるオフィスフォーメーションを具現する上で「分散ネットワーク型オフィス」を設定し、拠点ごとに機能を整えています。実験・検証を重ねる中で得られる経験を活かし、オフィスフォーメーションのアップデートも重ねています。今こそ、リアルな空間の価値を重視し、自律的に働く場を選択しながら、新しい働き方とそれを支援する次世代オフィスのあり方を探求し続けます。

港南ラボ マークスリー [Mk_3]は、本社・支店などの拠点「ヘッドオフィス」に付帯しつつ、機能を強化する施設です。丹青社が新たな価値を生み出し続けるための共創プラットフォームとして据え、空間×テクノロジーの可能性を追求します。また、空間演出に特化した「クロスマディアイノベーションセンター（以下「CMIセンター」）」をはじめ、さまざまな企業やクリエイターとともに、さらに情報発信の機能をもつ施設を整備することで、エンドユーザーおよび事業者に、より新しく、質の高い体験の提供を推進します。

MK_3

TANSEISHA NEXT OFFICE



HEAD OFFICE

【エンゲージメントを高める ココにしかない場】

～拠点にしかない機能とおもてなし～

SATELLITE OFFICE

【本社と自宅の間で リアルコミュニケーションを図れる場】

～グループでクリエイティブワークを展開～

HOME

【ソロワークを推進する場】

～多様な働く場の選択肢のひとつ～

港南ラボ マークスリー [Mk_3]

【リアルな価値にこだわった実証・実験・コミュニケーションの場】

港南ラボ マークスリー [Mk_3] の概要

狙い

空間×テクノロジーの可能性の追求

スタイル

「ヘッドオフィス」に付帯しつつ、機能を強化する施設

コンセプト

新たな価値を生み出し続ける共創プラットフォーム

Mk_3 LAB

新たな価値を生み出す実証実験の場

研究開発・実証のための設備・機材を備えたラボスペース。多種多様なプロフェッショナルが新たな価値を生み出すためのフレキシブルでクリエイティブな場です。

Mk_3 STUDIO

成長し続けるアジャイル型スタジオ

フレキシビリティと拡張性をあわせもつスタジオスペース。常に最適を探求し成長し続けながら社内外に丹青社グループの取り組みの“今”を伝える場です。



空間×テクノロジーの可能性を追求し、新たな
価値を生み出し続けるための共創プラットフォーム

2つのエリアで構成



STUDIO

情報を発信していく場



LAB

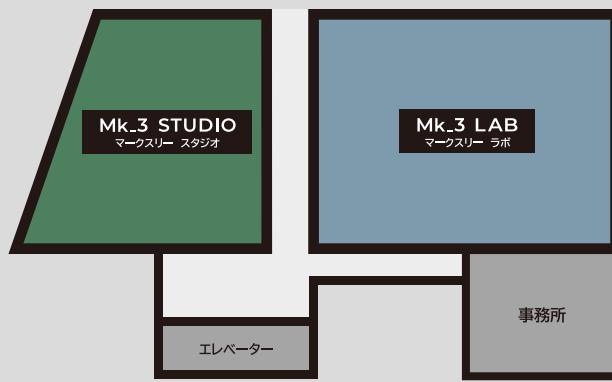
新たな価値を生み出す場

配信・収録

- デザイン祝賀会
- キックオフ
- 外部ゲスト対談・トークショー
- 広報インタビュー
- 社内レクリエーション
- 企業対抗戦（e-sports）
- フィットネス
- クリエイティブサロン・ルーム企画
- オンラインプレゼン
- プレゼン動画資料
- 社内の人材発信
- 講習会・ハウツー動画

バーチャル連携

- 3D バーチャル空間投影・AR 合成
- リアルとバーチャルの同期



実験・シミュレーション

- サンプル・パターン投影
- 実寸での設計確認
- グラフィック設置検討
- モックアップ設置
- 大型機材テスト
- スタートアップ企業との協業
- 映像技術実験

展示・イベント

- 地域連携イベント
- パートナー展示イベント
- 社内展示イベント

施設企画・運営



CMIセンター（クロスメディアイノベーションセンター）は、空間体験の価値を最大化・最適化する丹青社の専門チームです。

テクノロジーとアイデア、多彩な個性と専門性の掛け合わせにより、空間の可能性を追求し、共創を楽しみ、試行錯誤に夢中になりながら、人々のこころを動かす感動体験を創造しています。

価値創造の基盤 テクノロジーで感動体験を生み出す力

CMIセンターを中心として、丹青社は、空間を唯一の“体験”的メディアととらえ、これまでに培ってきた“場を生み出す”技術やノウハウに、ICTや演出技術など“時を彩る”テクノロジーやアイデアを組み合わせ、人々のこころを動かす“感動体験”を生み出し続けています。

多感覚を刺激し、圧倒的な情報量で想いを伝えるフィジカルな空間に、さまざまな特長を持つデジタルを交差させ、お客様にとって最適なソリューションを提供しています。